



防衛省の交付金を活用して消防隊員の防火服を更新しました



消防隊員が火災現場で装着する防火服は、火に強く※、丈夫であることはもちろん、迅速な動きもこなせる軽量なものでなければなりません。佐世保市消防局は、令和元年度事業で防衛省からの交付金を活用して、消防隊員の防火服を更新しました。この防火服の性能を十分に活かし、火災の被害を最小限にとどめ、さらなる安全・安心なまちづくりを目指します。

※ 炎(1,200℃以上)に10秒間さらされても生地には穴開きや残炎がありません(ISO規格試験)。

～防火服のいろいろな機能をご紹介します～



ヘルメットは、空気呼吸器のマスクをすっぽり覆うシールドと保護布付きで輻射熱や飛散物から隊員を守ります。



襟元に警笛を装備し、瞬時に活動危険を全隊員へ合図できます。



トランシーバーなど各資機材の形状や用途に合わせたポケットやフックを多数取り付け、隊員の手をフリーにすることで効果的な活動ができるよう工夫しています。





隊員の氏名や所属が後方や側方から確認でき、指揮者による部隊の把握や連携活動に役立ちます。



防火上衣の内側ポケットに保冷剤を入れることができ、夏場の火災現場でのヒートストレス（熱中症）対策ができます。



安全ベルトについているロープには、万一転落した際に、落下時の衝撃を吸収する「ショックアブソーバー」という器具が取り付けられています。

火災は私たちの住む家や思い出の品、写真などすべてのものを奪う本当に恐ろしい災害です。
消防の第一歩目は、火災予防です。これは、住民の皆様の手にならされています。
引き続き火災予防にご協力をお願いします。

